

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や利用児童に寄り添った計画の策定	ご利用時には、保護者の考えや想いを丁寧に伺い、利用児童を多角的にアセスメントしています。また、必要に応じて保護者に新たな価値観をご提案し、必要な経験を積めるよう、段階的な成長を促す計画を立案しています。	利用児童や保護者との対話を重ね、理解を深めることで、より納得いただける計画の作成を心掛けます。
2	保護者や利用児童といつでも気軽に相談できる関係性づくり	フィードバックを中心にお子様やご家族の様子を伺い、困りごとの相談を受けるとともに、必要に応じて面談を行い、支援内容について柔軟に対応できるよう努めています。また、LINE等での質問にも迅速に対応しています。	定期的に面談を行い、支援の効果を確認しながら、その時々での優先順位を調整することで、利用児童の成長を促進し、ご家族の困りごとを解消できるよう努めます。ご希望に応じて、所属する園と連携し、現場での困りごとが減るよう対応いたします。
3	成長に応じた柔軟な支援プログラムを提供	支援の定着度や完成度を随時確認しながら、ステップアップを検討して支援プログラムを策定しています。また、新しい支援プログラムの策定に向けて、随時ミーティングを開催し、決定しています。	支援の様子に加え、ご家庭や所属する園などと連携し、困りごとを減らすことで成功体験を増やし、自己肯定感を高められるよう努めます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域の方々との関わり作り	個別療育を求めると利用者が多いため、支援内容や方向性、時間などの調整が必要となり、地域活動への参画が難しい状況です。	地域や他事業所のイベントへの参加については、支援の目的に合致する児童に対し、参加の可否を検討いたします。
2	保護者会の開催、保護者通しの交流の場の提供	保護者からのご要望はあるものの、参加可能な曜日や時間帯がさまざま、調整が難しい状況です。	再度アンケートを実施し、参加しやすい曜日や時間帯が多いところを確認いたします。その上で、まずはつながる機会を大切にしたいと考えています。
3	非常時等の対応についての周知	マニュアル類が多いため、単に掲示するだけでは分かりにくい状況です。整理し、より分かりやすい形に改善する必要があります。	ケースごとにファイリングを行い、必要に応じて分かりやすい資料を作成するなど、対応の精度を高めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校				公表日	2025年 2月 15日		
						利用児童数	8名	回収数	80%
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0	ご利用者の特性を考慮したり、支援内容に合わせて、パーテーションで区切って活動しています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0	職員の配置は、指定基準を遵守しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	1	0	仕方がないと思うが、階段が急だと感じる。	建物の構造上の問題で改善は難しいのですが、お子様と手をつなぐなど、安全にご利用いただければと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		教材や設備品の点検及び補修や消毒を常に行っています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		お子さま・保護者様のニーズを的確に把握するため、日ごろから傾聴する場を一層設けていき、よりよい計画を作成できるよう努力していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		計画書の説明は丁寧に実施し、支援内容に反映できるよう職員間でのミーティングを都度実施していきます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		日々のミーティングで計画内容を都度確認・意識し、支援内容に反映されるプログラムの実施に努めます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0		児童の理解度に合わせて、スモールステップで成長できるよう、プログラムを工夫していきます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	0	1	・他施設の児童との交流はないと思う。 ・無い様だが特に必要と感じない。	現在は感染予防の観点から実施していません。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	1	3		家族支援の時間を設け、ご希望の方や必要な方に対応についてアドバイスを行います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	0	0	0		話しやすい関係性作りや分かり易い説明を一層掛けていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		いつでもご相談していただけるよう機会をつくっていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	1	5		感染予防の観点から現在は実施しておりませんが、今後はZOOMなどを利用して実施する計画を進めていきます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		定期的にお話する機会を設けていただけるよう予定を組むだけでなく、気軽にお声掛けいただけるよう環境作りにも努めます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0	SNSにて発信していますが、より分かり易いよう校舎内での掲示も検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	専用鍵付きキャビネットに保管し、保護者や児童の目に触れない場所に設置しています。また、個人情報の取り扱いに関するマニュアルを策定しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2	訓練は定期的を実施し、SNSや校舎掲示板にて周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	3	児童も含めた訓練を実施していきます。ご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	2	教室内で掲示いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2	速やかに時系列でご報告できるように致します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	児童が自発的に「行きたい」と思えるよう、楽しみながら学べるプログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	児童・保護者の皆さまにご満足いただけるよう、今後も丁寧な支援とフォローを行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	ご利用者様の特性を考慮したり、支援内容に合わせて、パーテーションで区切って活動しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	お休みがなるべく重ならないよう調整し、指導員の配置についても指定期準を遵守しています。	有休を取得すると基本人員を確保しにくいことがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		事業所が2階にあるため、利用児童・保護者様には階段に注意していただくよう呼び掛けしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	日々のミーティングにて、支援や事務作業の反省点・改善案を話し合い実施しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		ご協力いただいた事業所評価の結果を職員間で共有し、改善へ向けた取り組みをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	外部講師の巡回を実施予定でしたが、感染症の影響を受け、未実施です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	発達支援研究所の定例研修の他、外部研修にも積極的に参加しています。研修内容は、校舎内で共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	社内で統一されたアセスメントシートを使用し、保護者のご意見を伺いながら支援計画に反映しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	特性に合わせて、詳細かつ具体的な支援内容を設定しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画に沿った内容になるよう、随時ミーティングにて話し合いをしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	社内で統一されたアセスメントシートと、校舎内で使用している課題表を活用し、よりの確に状況を把握できるよう努めています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	特性に合わせ、詳細かつ具体的な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	校舎内で話し合い、プログラムを考案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	保護者と話し合い、個別と集団の活動を組み合わせ実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	随時ミーティングを実施し、指導員間で共有する様にしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	随時ミーティングを実施し、指導員間で共有する様にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	支援記録をとり、職員間で情報共有をしています。	ミーティングにて児童の様子や支援内容を話し合い、改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	随時、事業所内および保護者を中心に実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者と担当指導員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	常に児童と関わりのある関係機関との連携を積極的に模索しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	社会との接点を増やすという観点から支援を行っています。また、園等との連携を希望されているご家庭では定期的な連携を図っており、	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	環境の変化や入学に向けて保護者様との相談の時間を設けています。ご希望があれば、学校との連携を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	0		感染症対策のため、現在はお電話や郵送にて実施していますが、必要に応じて随時相談させていただきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		ご利用児童の園や学校連携訪問を通して、定型発達の児童との活動について幅が広がるよう、アドバイスをしています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	支援後のフィードバックを毎回実施しています。その際に、ご自宅や園、学校の状況などについても傾聴するようにしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家族支援の際に、対応についてアドバイスしています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご利用開始の前に、丁寧な説明を実施しています。	変更点がある場合は、適宜丁寧な説明を実施しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	計画策定前にご家族からのご要望と児童のアセスメントをもとに、段階的に目標達成できるようご提案させていただきます。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	保護者からのご要望等を基に個別支援計画を作成し、了承を得ています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	支援後のフィードバックの際やLINE、電話、面談等でご相談に対しアドバイスをしています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		感染予防の観点から見送っていますが、今後状況をみて開催予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	支援の時だけでなく、保護者の困り感に応じて相談していただけるよう体制を作っています。	相談内容は迅速に職員間で共有し、対応できるよう努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ホームページのブログやSNSにて活動内容を掲載しています。	イベントなどは、ブログやSNSだけでなく校舎内の掲示板にてお知らせしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	専用の鍵付きキャビネットに保管し、保護者や児童の目に触れない場所に設置しています。また、個人情報の取り扱いに関するマニュアルを策定しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者と職員間で情報を共有し、児童に合った方法を考えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		現在は実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	マニュアル類は誰でも閲覧できるようにしています。実施した訓練実施報告は、校舎内の掲示板やブログ、SNSにて発信しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	児童も一緒に訓練を実施していただいています。訓練報告は校舎内の掲示板やブログ、SNSにて発信しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	ご利用開始前の面談にて確認しています。また、支援の際に状況が変わっていないか確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食物提供はしていませんが、面談にて確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	定期的に研修等を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	4		面談等でご家族様と共有しご理解とご協力をお願いします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事例があった都度作成し、職員間で共有できるようにしています。その際、日時、場所、気づきなども記載するようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	社内で定期的に研修を実施しています。また、研修内容を校舎内で共有しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	マニュアルを作成し、校舎内で周知しています。	契約の際に、丁寧に説明をし承諾をいただいています。	